

## 専門機関による外部評価概要

原子力防災訓練、オフサイトセンター運営訓練及び災害対策本部運営訓練について、外部委託評価員（（株）日立パワーソリューションズ）により評価を実施。概要は、以下のとおり。

### 【原子力防災訓練】（10/15 実施）

訓練項目	良好な点	検討を要する事項
災害対策本部訓練	TV会議では、発電所の状況や対応状況、防護措置実施状況等のほか、住民が安心して避難できるよう避難先（大分県）におけるコロナの感染状況の説明があり、円滑な情報共有が行われていた。	TV会議中に音声トラブルが見受けられたため、使用する各機器のマニュアルの整備を検討する。また、道路状況の視覚的把握のため、会議内でヘリテレ映像の共有を図ることが望ましい。
住民避難・誘導訓練	受付での検温や手指消毒、船舶内におけるアクリルパネル及びビニールシートの設置等感染症対策が実施されていた。	避難者等の人数に配慮した訓練開始前の説明を実施するなど、感染症対策として一定の間隔を確保することが望ましい。
緊急時モニタリング訓練	TV会議システム等を活用した情報伝達、情報共有が適切に行われ、原子力防災システム（N I S S）の操作では、受信と発信を別担当とし操作・確認ミスが低減できていた。	要員の配置調整や入れ替わりに備え、ホワイトボード等を活用した役割分担表に要員の氏名の書き出しを行うことが望ましい。
	防護服を着用し試料の採取を実施する等放射線防護体制が取り入れられた訓練が実施されていた。	今後、防護マスクの着用等、更に放射線防護体制を整えることが望ましい。
	道路情報や気象情報等の各種入手情報を有効に共有・活用していた。	指示事項の決定、伝達の際には、モニタリング要員の安全確保を念頭に置いて検討し、明確に指示することが望ましい。

### 【オフサイトセンター運営訓練】（11/17 実施）

訓練項目	良好な点	検討を要する事項
県現地災害対策本部運営訓練	県現地本部長の各担当への具体的な活動内容の指示により適時適切な活動が行えていたほか、活動管理ボードやホワイトボード、地図等を用いて県現地本部内における情報管理が行われていた。	オフサイトセンター機能班等と切り離されての訓練であり、今後は県災害対策本部やオフサイトセンター機能班等が連携する訓練を実施し、要員の対応能力の更なる向上を図ることが望まれる。

### 【災害対策本部運営訓練】（11/24 実施）

訓練項目	良好な点	検討を要する事項
災害対策本部運営訓練	災害状況や発電所の事象の進展等について、電子ホワイトボード等を用いた情報共有及び検討がなされ、県災害対策本部内における連携した活動が行われていた。	マイクを使用した県災害対策本部内の迅速かつ確実な情報共有や、原子力防災システム（N I S S）受信画面のプリントアウトが可能な資機材の配備等、環境の整備が必要。